

全国養護教諭
連絡協議会全国養護教諭連絡協議会ホームページアドレス <http://www.yougo.jp>NO.85
全報令和4年9月 発行
全国養護教諭連絡協議会
代表者 小林 幸恵
東京都港区芝公園 2-6-8
日本女子会館 4階
TEL.:03(3433)5767
FAX.:03(3433)5768

時代のニーズに応えられる養護教諭に

全国養護教諭連絡協議会

副会長 川口 聖子



会員の皆様には、日頃より本会の運営・活動に対し温かいご理解とご支援・ご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策は令和元年度末から始まりました。当初は未知のウイルスとの闘いで休校などの対応でしたが、今は「子供たちの学びをとめない」。学校でも「新しい生活様式」が定着し、養護教諭の先生方を中心に「健康観察（検温）・マスク・

手洗い・消毒・換気・身体的距離の確保・食事の時は会話を控えるなど基本的な対策プラス学校行事ごとにきめ細やかな対応」を行い多忙な日々をお過ごしのことと存じます。

コロナ禍で大きく変化した事項の一つに会議や研修会があります。対面開催、オンライン開催にはそれぞれメリット、デメリットがあり、条件下によって選択できることは、研修の機会の幅も広がったといえるでしょう。そのようななか、令和4年6月18日（土）3年ぶりに第24回学校保健連絡協議会・令和4年度総会を対面開催で行うことができましたことは大変うれしく思います。さらに総会後に実施しましたブロック別情報交換会では、活発な意見が交わされ大いに盛り上がりました。やはり対面で行うことで意思の疎通が図りやすく、信頼感が増すと改めて感じた時間でした。また第24回研修会は、オンライン開催し全国から多くの先生方ご視聴していただきありがとうございました。オンライン開催は、移動がなく、ご自分の都合の良い時間に研修できる大きなメリットがあります。

さて、社会環境や生活環境の急激な変化は、子供たちの心身に大きな影響を与え、これらに対応するため養護教諭の果たす役割も時代のニーズとともに変化しています。児童生徒、保護者や職員からの養護教諭への周囲の期待や欲求をニーズとしてとらえると、コロナ禍の今は「感染症予防」が高くなるでしょう。その一方いじめや不登校など心の問題を抱える生徒も多く「教育相談活動」の期待も高く、さらには「保健教育」「個別支援とコーディネート」などあげられます。子供たちの豊かな心と健やかな体を育むために、養護教諭として何ができるか、何が求められているか、アンテナを高くし養護教諭の専門性を活かした行動をしていきましょう。

会員の皆様には、隔年で実施する「職務に関する調査」への協力ありがとうございました。今回初めて全会員を対象に実施いたしました。この結果より現状と課題を明らかにし、改善につなげたいと考えております。

本会は研究団体として、養護教諭の資質向上・職の充実・発展に向けて、研修・研究活動を一層充実させていきたいと考えております。今後とも会員の皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。